

コロナ死者数が急増、直近3カ月前年の16倍 70歳以上が9割を薦める理由

12/30 毎日新聞



横断歩道を行き交う人たち＝東京・上野で
2022年11月13日、丸山博撮影

新型コロナウイルスに感染して死亡した人が29日、全国で新たに420人報告され、前日に続き過去最多を更新した。「新型コロナの死者数ってこんな規模感だったのだろうか」。3年ぶりの行動制限のない年末年始を迎え、感覚がまひしているのかもしれない。そこで前年と比較してみると、驚くほどの急増ぶりと分かった。【デジタル報道センター】

1年前とは桁違いに多い死者数

厚生労働省の公表資料を

基に、まずは直近1週間の1日ごとの死者数を比較した。2021年12月は、23日3人▽24日0人▽25日1人▽26日0人▽27日0人▽28日2人▽29日4人——で計10人だった。

一方、22年12月は、23日315人▽24日339人▽25日306人▽26日217人▽27日271人▽28日415人▽29日420人——で計2283人。単に1週間の死者数を比較したに過ぎないが、それでも22年は桁違いに多いことが分かる。

比較する期間を直近3カ月（10月1日～12月29日）に広げてみると、21年が744人だったのに対し、22年は1万1853人。なんと15・9倍にもなっていた。

やはり、高齢者は要注意

では、どの年代が多く亡くなっているのか。直近の約4カ月間（22年8月31日～12月27日）について年代別の死者数の割合を見ると、80代（40・8%）が最多。90歳以上（34・7%）、70代（17・0%）と続いた。この年代だけで92・4%を占め、やはり高齢者ほど注意が必要なが分かる。男女それぞれの死者の年代別割合は次の通り。

男性は、10歳未満0.1%▽10代0.0%▽20代0.1%▽30代0.4%▽40代0.5%▽50代1.6%▽60代6.7%▽70代22・8%▽80代42・9%▽90歳以上24・8%——。

女性は、10歳未満0.1%▽10代0.1%▽20代0.1%▽30代0.2%▽40代0.8%▽50代1.2%▽60代3.1%▽70代10・7%▽80代38・4%▽90歳以上45・3%——だった。

田座長「かなり増えている」

厚労省に新型コロナ対策を助言する専門家組織「アドバイザリーボード」の座長で国立感染症研究所（感染研）の脇田隆宇所長は、22年12月28日の記者会見で「死者数がかかなり増えており注視している。地域差があるので分析が必要だ」と話した。